

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

令和2年度第1回岩手県公共事業評価専門委員会

2 開催した日時

令和2年6月16日（火） 9:30~12:05

3 開催場所

エスポワールいわて3階特別ホール（盛岡市中央通一丁目1-38）

4 出席委員

小笠原敏記専門委員長、泉桂子副専門委員長、石川奈緒委員、清水真弘委員、谷本真佑委員、武藤由子委員
（6名中6名出席）

5 議題等

（1）議事

ア 令和2年度専門委員会の開催スケジュール案について

政策企画課から、令和2年度公共事業評価専門委員会の開催スケジュールを説明。

イ 公共事業の再評価について

・農道整備事業 褒主地区（軽米町）〈諮問審議〉

- 農村建設課から再評価内容について説明があり、その後、質疑等が行われた。
- その結果、継続して審議を要する事項及び追加説明が必要な事項は次のとおりとなった。
 - ・農道の路線の検討過程について
 - ・鶏糞の輸送量の各市町村別内訳について

■ 専門委員からの主な質問、意見は次のとおり

（質疑）

土工量の増加が総事業費の増加に影響しているとのことであるが、路線を見直すことで土工量を抑えることはできなかったか。

（回答）

起終点は変更していないが、細かい線形の検討は行っている。

（質疑）

現行の路線に至る検討過程について、資料を示していただきたい。

（質疑）

鶏糞の輸送量について、B/Cの便益項目「営農に係る走行経費節減便益」にも影響するため、各市町村別の内訳を示していただきたい。

・林道整備事業 平根山線（陸前高田市）〈諮問審議〉

- 森林保全課から再評価内容について説明があり、その後、質疑等が行われた。
- その結果、継続して審議を要する事項及び追加説明が必要な事項は次のとおりとなった。
 - ・評価指標の「地域振興」及び「林内路網密度」の詳細について
 - ・「災害等縮減便益」の算出方法について

■ 専門委員からの主な質問、意見は次のとおり

(質疑)

評価指標の推移において、「地域振興」の地区数が増えているのはなぜか。

(回答)

前回再評価時においては陸前高田市が過疎地域に指定されていなかったが、今回再評価時には指定されているため。

(質疑)

評価指標の推移において、「林内路網密度」が上がっているのはなぜか。

(回答)

作業道が入ってきたことにより、前回再評価時より増加したもの。

(質疑)

「地域振興」と「林内路網密度」のそれぞれの変化について、資料を示していただきたい。

(質疑)

B/Cの便益項目「災害等縮減便益」が増加していることについて、資料を示していただきたい。

・ 広域河川改修事業 二級河川気仙川（陸前高田市、住田町）〈諮問審議〉

○河川課から再評価内容について説明があり、その後、質疑等が行われた。

○その結果、継続して審議を要する事項及び追加説明が必要な事項は次のとおりとなった。

- ・「被害額の便益」の算出方法について

■ 専門委員からの主な質問、意見は次のとおり

(質疑)

B/Cの便益項目「被害額の便益」はどのように算出したのか。

(回答)

氾濫域をシミュレーションし、そこにある資産を細かく積み上げて算出したものである。

(質疑)

「被害額の便益」の詳細な内訳について、工事前後の氾濫浸水エリアのマップと併せて示していただきたい。また、今回のB/Cの算出はどの時点を基準にしているか、明確に示していただきたい。

・ 火山砂防事業 一級河川北上川水系平笠東沢（八幡平市）〈諮問審議〉

○砂防災害課から再評価内容について説明があり、その後、質疑等が行われた。

○その結果、継続して審議を要する事項及び追加説明が必要な事項は次のとおりとなった

- ・「人的被害」の算出方法について

■ 専門委員からの主な質問、意見は次のとおり

(質疑)

B/Cの便益項の「人的被害」はどのように算出したか。

(回答)

人的被害は、人命の損傷による直接被害の「逸失利益」と、間接被害の「精神的損害額」を算出するように、費用便益分析マニュアルで定められている。詳細な計算式については、次回以降の委員会でお示しすることとしたい。

・ 都市計画道路整備事業 盛岡駅本宮線（盛岡市）〈諮問審議〉

○都市計画課から再評価内容について説明があり、その後、質疑等が行われた。

○その結果、継続して審議を要する事項及び追加説明が必要な事項は次のとおりとなった。

- ・ 第Ⅱ期工事としてのB/Cの整理について

■ 専門委員からの主な質問、意見は次のとおり

(質疑)

第Ⅱ期である本事業は2車線から4車線に整備するものであることから、B/Cは、2車線が供用済みの状況から4車線に整備した場合で算出した結果を示していただきたい。

(回答)

第Ⅱ期のみで算出したB/Cは6.9となっている。

(質疑)

本事業は、第Ⅰ期と第Ⅱ期で分かれてはいるが、当初計画時から4車線で構想していたものか。

(回答)

そのとおりである。

(質疑)

当初計画の全体の事業費から第Ⅰ期の事業費を差し引いた分を当初の第Ⅱ期の事業費として、B/Cを再整理いただきたい。

・その他

(意見)

総事業費の適切な算定については、令和元年度の答申において附帯意見を示しており、対応いただいていると思うが、その内容について、今年度の委員に改めて共有していただきたい。

(意見)

今回の火山砂防事業のように、B/Cが高くても進捗が遅れている事業がある。B/Cと事業の優先度はどのように関連しているのか、事業評価の考え方を説明いただきたい。

ウ 第2回専門委員会（現地調査）について

広域河川改修事業 二級河川気仙川（陸前高田市、住田町）及び都市計画道路整備事業 都市計画道路盛岡駅本宮線（盛岡市）について、次回現地調査を実施することとなった。

エ 公共事業評価に係る評価基準の一部改正について

- 政策企画課から評価基準の一部改正について説明があり、その後、質疑等が行われた。
- その結果、評価指標の配点基準を再整理し、次回以降の委員会で説明することとした。

■ 専門委員からの主な質問、意見は次のとおり

(意見)

評価指標「(1) 高齢社会対応施策」の配点基準をより明確化・細分化していただきたい。

(2) 会議資料

- 資料 No. 1 令和2年度公共事業評価専門委員会開催スケジュール等（案）
- 資料 No. 2 諮問書（令和2年度公共事業再評価について）の写し
- 資料 No. 3 令和2年度公共事業再評価地区位置図
- 資料 No. 4 令和2年度公共事業再評価調書
- 資料 No. 5 令和2年度公共事業評価専門委員会 現地調査行程表（案）
- 資料 No. 6 公共事業評価に係る評価基準の一部改正について

※ 会議資料及び会議録については、行政情報センターへ配架するとともに、県のホームページに掲載します。

6 傍聴人数

一般 1人 報道 4社

7 問い合わせ先

〒020-8570 盛岡市内丸 10 番 1 号

岩手県政策企画部政策企画課 TEL : 019-629-5181 FAX : 019-629-6229

8 アドレス

<https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/hyouka/koukyouhyouka/1029834/1030860.html>

9 その他

政策等の評価について御意見がありましたら、上記問い合わせ先まで FAX 等でお寄せください。
今後の専門委員会での審議の参考とさせていただきます。